

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1301001

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	水土里情報システム利活用事業		見直し年度			
事業期間	平成24年度		担当課	13	農業委員会	
事業主体	雄武町		関係課	9	産業振興課	
事業指標	農地の有効利用の促進				#N/A	
事業目標	農地情報の共有化		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

計画内容	全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
	◎水土里情報システムの利用						
計画事業費	事業費(千円)	100	0	0	0	0	100
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	100					100	
実績事業費	事業費(千円)	100	0	0	0	0	100
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	100					100	
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	水土里情報システムの年間利用料						
	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値					農地情報の共有化
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
全体達成率	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
事業進捗状況						☆☆☆☆	

事業名	水土里情報システム利活用事業	評価者 管理職 職氏名	農業委員会事務局長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農業委員会農地係長	齋藤康志

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町農業者を対象	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	農地情報の共有化		
【抱える課題やニーズは】	農業は、町の基幹産業であり、農業の発展・促進を促す上からも必要不可欠である。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	農地の地図並びに農地情報を友好的に活用する。		① 水土里情報システムの利用	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	農地の有効利用の促進、農業の持続的な発展、農村の振興を図る。			目標値	1式
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	水土里情報システムの利用料の支出		実績値	1式	
			達成度	100.0%	
			②	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	適切な農地管理等に必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	システムの利用により、農地管理が向上した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	農地管理が図られ、事業の効率化が図れた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

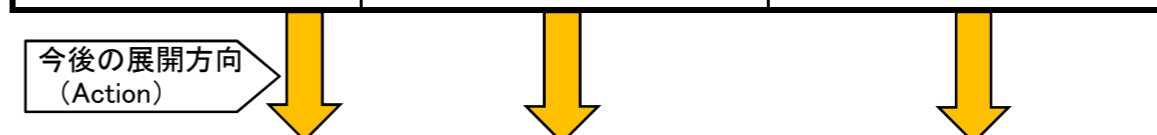
公平	判断の理由	システムの導入により、対象者の農地情報等の有効利用が図られ、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
農地地図並びに農地情報等を有効活用することができ、計画どおり事業を達成した。		



継続/現状維持		
今後も適切な農地管理等を図るため、本事業の継続は必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1301002

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 担い手(人・組織)の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町農業後継者対策事業	見直し年度	平成23年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	13 農業委員会	
事業主体	雄武町	関係課	9 産業振興課	
事業指標	酪農研修実習生受入れ人数		#N/A	
事業目標	5名/年	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酪農体験実習事業 ・ 北海道担い手育成センターをはじめとする団体との連携 ・ 農業担い手対策事業 	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,250	250	250	250	250
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,250	250	250	250	250
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,250	250	250	250	250
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,250	250	250	250	250
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金	雄武町農業後継者対策協議会への負担金
		※前年度評価結果	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 C-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 5名	5名	5名	5名	5名
		年度達成率 100%	100%	100%	100%	100%
		全体達成率 20%	40%	60%	80%	100%
		事業進捗状況 ☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	雄武町農業後継者対策事業	評価者 管理職 職氏名	農業委員会事務局長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農業委員会農地係長	齋藤康志

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町農業後継者で配偶者を求める者を対象	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)									
【抱える課題やニーズは】	農業は、地域経済を支える基幹産業であり、離農を抑制する上からも後継者対策は必要不可欠である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	後継者等を求める者を対象に、広い範囲にこれを求める事業の展開を、積極的に行う。	① 農業後継者花嫁対策事業「酪農体験交流会」への参加者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>25人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>9人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>36.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	25人	実績値	9人	達成度	36.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	25人										
実績値	9人										
達成度	36.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	後継者と酪農体験参加者や実習生・交流会参加者との縁談を視野に入れ、経営の安定を図り、また研修生の研修後の新規就農等を図る。	② 酪農体験実習への参加者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>0人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>0.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	4人	実績値	0人	達成度	0.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	4人										
実績値	0人										
達成度	0.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雄武町農業後継者対策協議会への負担金支出										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業は、地域経済を支える基幹産業であり、離農を抑制する上からも後継者対策は必要不可欠である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	後継者対策事業として、平成21年度から始めた「農業後継者花嫁対策事業」では、平成24年度に実施した中で、1組が結婚に至り、今後も期待される。また、酪農体験実習では、具体的な内容の問い合わせが1件ありましたが、日程が合わず、受け入れには至っておりませ
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

課題あり	判断の理由	後継者対策は、地域経済を支える基幹産業である農業から、離農を抑制する。また、酪農体験を通じ、農業に従事する実習生の受け入れ態勢も整っているが、目標値の達成には至らなかった。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

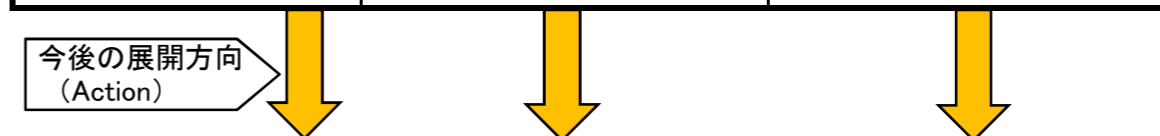
公平	判断の理由	雄武町と北オホーツク農業協同組合が負担。また、酪農体験交流会は参加者からの負担金を徴収し実施している事業であり、公平性は妥当と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
農業は、地域経済を支える基幹産業であり、離農を抑制する上からも後継者対策は必要である。平成24年度については、1組が結婚し、事業の成果はあった。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
後継者の経営の安定等を図るため、これまで以上に関係機関と連携を図り、事業の展開を図ることが重要であり、本事業の継続は必要である。	同左	

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止